



さがまた

No.100
2023.1

Kamogawa
SEAORLD

「さかまた」が創刊100号をむかえました

「さかまた」は、鴨川シーワールドの機関誌として、開業2年目の1972年3月に創刊されました。

誌名はシャチの別名「さかまた(逆叉、逆戟)」に由来します。

年2回の発刊を基本として、このたび100号をむかえることができました。これもひとえにお客様の、鴨川シーワールドに対するあたかいご支援の賜と心より厚く御礼申し上げます。

今回はこれまでの全表紙と各号の掲載記事を紹介します。「さかまた」の記事構成は少しずつ変化してきましたが、各号のメインテーマとなった生物が表紙を飾ることが多く、年代順に並べて見

ることでも鴨川シーワールドの歴史を感じられると思います。

創刊当時にはまったく想像していなかったSNSによる情報発信が主流となった現在、時代にあった様式を探りながら、みなさまに楽しんでいただける機関紙づくりを進めてまいりますので、これからもより一層のご支援をお願いいたします。

2023年1月吉日

株式会社グランピスタ ホテル&リゾート
鴨川シーワールド
館長 勝俣 浩
Hiroshi Katsumata

さかまた

『さかまた』は鴨川シーワールドの機関誌として、開業から2年後の1972年3月に創刊されました。誌名はシャチの別名「さかまた(逆叉、逆戟)」に由来します。原則として年2回刊行し、今回で100号をむかえました。全表紙と各号の記事リストを掲載します。

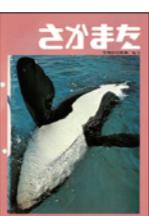
さかまた創刊号

B5版、4ページ。
No.16まで「生物の豆辞典」というサブタイトルが付いていた



さかまたNo.95

A4版 (No.67以降)、8ページ。近年の号はPDF版がホームページにも公開されている



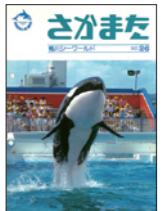
表紙一覧

さかまたの掲載記事

No.	発行年月	表紙	メインテーマ	トピックス	モラモラ	アニマル
1	1972.3	シャチ	魚を飼う/魚を展示する事/海獣と魚とのちがいについて/イルカの調教法	—	—	—
2	1973.3	バンドウイルカ	わたしは、イルカ	—	—	—
3	1973.9	シャチ	シャチとシャチホコ	ハマクマノミの産卵	アザラシ	—
4	1973.12	シャチ	シャチは本当に獰猛か?	シライ飼育中!	ゴマファザラシヒゼニガタアザラシ	—
5	1974	シャチ	シャチの飼育の歴史	太りすぎたハシキンメ	クラカケアザラシ	—
6	1974	シャチ	日本に於けるシャチの飼育	ウミタナゴの仔供が生まれました	ワモンアザラシ	—
7	1975	バンドウイルカ	イルカとは…	イカはイカガですか?	アシカ科の動物トド	—



No.	発行年月	表紙	メインテーマ	トピックス	モラモラ	アニマル
8	1975	バンドウイルカ	イルカの体	餌付けの難しいキンメダイ	—	カリフォルニアアシカについて
9	1976	オキゴンドウ	イルカの生態…(イルカの生活)	タツノオトシゴ	—	オタリア
10	1977.10	ベルーガ	北極海のベルーガ生捕り作戦	白クマとベルーガ	—	ベルーガ(シロクジラ)について/ベルーガの名前について
11	1977.12	ゴマファザラシ	鰐脚類について	コウイカの誕生	—	トッピ君の育児記録
12	1978.7	イチヒキアジ	さかなとは…	魚を釣る魚! アンコウ	—	オーストラリアアシカ
13	1979.2	マンボウ	マンボウの飼育	ジョーズ飼育に挑戦中	—	世界最大のカニ、タカシガニ
14	1979.9	オキゴンドウ	魚の名前	海のグライダートビウオ	—	クジラのロデオ
15	1980.12	ハマクマノミ	魚の産卵	アイスランドから2万キロ海の王者 シャチのお目見え!	—	カナダからの生物
16	1981.2	シャチ	シャチたちの一年/鴨川シーワールド10年の歩み	ペアで飼育世界記録を樹立マンボウ No.6-No.9	—	生きている化石「オウムガイ」
17	1981.7	シャチ	ペンギン家族/イカの話・あ・れ・こ・れ	イルカの赤ちゃん生まれました	イルカの輸送/園内案内所と園内ガイド/マンボウの愛称決定/オーストラリアの水族館建設に協力	絶対から来たトド/2年半も生きたアユ
18	1981.12	タカシガニ	カツオ・マグロ類の飼育に挑戦!/人間の言葉を憶えたベルーガ	シャチのロデオ初公開/アシカの繁殖に成功!	ジュニアトレーナー開校/ハノリウムの改裝/971日の飼育世界記録を残したマンボウ/鴨川シーワールド写真コンクール	長生きNo.1アマゾンカワイルカ/干潟の道化師、ムジゴロウ
19	1982.7	シャチ	アザラシの繁殖/トラザメの成長	おみごと!! シャチのルーピングキック/われこそ世界記録タカシガニ	シャチの健康診断/ハノリウムの改裝パートII/再びマンボウの飼育始めました/海水バイオラインの話	バンドウイルカ/有明海の変わり者、ワラスボ
20	1982.12	オーストラリアシカ	南極の魚類収集記	フンボルトペンギンの人工育雛/タカシガニの脱皮	置水槽のもうようがえ/迷子ペンギンの保護/竹岡で捕らえたイチョウハクジラ/オープン12年目のスター交代2題	イワトビペンギン/タカベ
21	1983.8	バンドウイルカ	サケの卵の展示/イルカスターへの道	ただいま人気急上昇中! 脱役スター大活躍/タチウオの飼育に挑戦中	アシカ展示プールの改裝/富山町岩井で捕られたカマイカ/春のタッチング水槽大繁盛/ハノリウムに水草も展示中	ムコ入りして来たワモンアザラシ/天然記念物「イタセンバラ」
22	1983.12	オウムガイ	アシカの人工哺育記	シャチのローリングライド公開/熱帯性淡水魚のコーナー開設	1,000万人目の入場者決まる/ショーステージのイメージチェンジ/にぎやかになった干潟の生物展示水槽/説明板のもうようがえ	南の海からやってきたヒゲハギ/マゼランペンギン
23	1984.7	セイウチ	行幸の栄誉に接して	北海の使者セイウチ君登場	ワッペン列車ベルーガ号/一宮海岸で保護されたオットセイ/オキナエビスの展示/潜水艦ドルフィン2000	「おでこ」に人気、コブダイ/アゴヒゲアザラシ
24	1984.12	キタシマアザラシ	常陸宮、同妃殿下お成り/魚の食事メニューと食事時間	新しい仲間キタシマアザラシお目見得!	アシカ類繁殖/謝々・中国養父母訪日団/夏の魚シイラの展示/マンボウ飼育日数1000日突破	カニウミヒドリ/カマイルカ
25	1985.7	オキナエビス	春の東京湾、生き物マップ/イルカ、スターへの道パートII	動物交換としてオキゴンドウ、アメリカのシーワールドへ!!/セイウチのショー出場	新入りイルカ万才/モノターテレビで機械室を紹介/新しいショーを公開/新装した、長寿の池	5年目をむかえたシャチのカレン/海の忍者マダコ



No.26



No.27



No.28



No.29



No.30



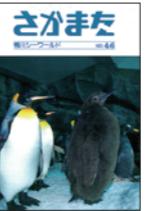
No.31



No.44



No.45



No.46



No.47



No.48



No.49



No.32



No.33



No.34



No.35



No.36



No.37



No.50



No.51



No.52



No.53



No.54



No.55



No.38



No.39



No.40



No.41



No.42



No.43



No.56



No.57



No.58



No.59



No.60



No.61

No.	発行年月	表紙	メインテーマ	トピックス	モラモラ	アニマル
26	1985.12	シャチ	東京湾のカニ／魚達のための環境作り	シャチ2頭、アイスランドから只今到着／開館15周年記念水族館、満足感！ふれあいの一日	マンボウが相次いで飼育世界記録を達成！／人気急上昇中！ウォッティングプール／姉妹水族館提携	コバシザメ／オキゴンドウ
27	1986.7	マンボウ	オキナエビスの飼育と生態／ベンギンの人工化	マンボウ「ノロン」海へ帰る。／只今特訓中！シャチの「ビンゴ」と「ハイティ」！！	保護されたコマッコウ／オリジナルテレフォンカード発売／クジラ行動生態展示大水槽着工／キタゾウアザラシ、アシカショーに一役	フンボルトベンギン／新しい仲間ヘヘレイ
28	1986.12	ラッコ	昭和61年夏特別展示 房総の海・黒潮とそのいきもの達	海のアイドルわんぱくラッコがやってきた。	イルカの出産／オリジナルビデオソフト製作／シャチショーブール完成間近！／新ショーオープン	オーストラリアアシカのサンディー／右に目のあるヒラメ
29	1987.7	シャチ	オーシャンスタジアム オーブン	アンコウ初めて空を飛ぶ？大成功！／アシカの007パートI	特別展示「房総の春」／わんぱくラッコの愛称決定／マンボウ飼育2,000日突破／新ショータイム誕生	海のいたずら小僧ネズミイルカ／マスノスケ（キングサークン）
30	1987.12	イバラタツ	イルカ 海から水族館へ—輸送方法—	イバラタツ誕生／おしゃべりなさかなたち	シャチのシャワーブレゼント／アマゾンカワイルカのFRP標本／虹の水槽／海の動物供養祭	5年目をむかえたセイウチ／「ふどめのアイドル」イシガキフグ
31	1988.7	シャチ	ペルーガとイルカの能力紹介	シャチ4頭搬入／本邦初公開タテゴトアザラシ	マンボウ飼育のウラ話マンボウ「クーキー」のあとづきたち／特別展示「シャチの世界展」／仔イルカの愛称決定／ショーステージの改裝	アカウミガメ
32	1988.12	ショウワギス	おもいででの水辺	雄のペルーガがカナダから到着／あそび大好き「セイウチ君」	シャチショーにフレッシュな仲間／南極の魚一般公開／園内モデルチェンジ作戦進行中／オーシャンスタジアムの水管理	4年目を迎えたキタゾウアザラシ／国の大天然記念物ミヤコタナゴ
33	1989.8	カマイルカ	華麗なハイジャンパー—シーワールドのカマイルカ達—	オーストラリアアシカの人工哺育／干支の生物「うみへビ」くん	シャチ3頭の愛称決定／マリンワールドへの技術協力／通算入園者1,500万人達成／第1回研究集会開催	パンドウイルカのスリム／コウイカ
34	1989.12	ツマグロ・ネムリブカ	マンボウの飼育	ラッコ飼育記／サメの展示	寄贈されたシャチFRP模型／磯の生物タッティング水槽／開設／ペルーガの愛称決定／イルカの夏ショー（レイ・アンド・ホウ）	トド／アミメウマヅラハギ
35	1990.6	ジェンヌーベンギン	マンボウ「クーキー」飼育世界記録2,993日	ベンギンズネイチャーオープン	ハボリウムの上流水槽の改装／機械化されたチケット販売／第2回研究集会開催／新しいシンボルマーク誕生	オウサマベンギン／ビワコオナマズ
36	1990.12	ペルーガ	ソ連からやってきたペルーガ	パンドウイルカの仔イルカ3頭誕生	大阪の新設水族館への技術指導／オープン20周年記念日の催し／波と魚の水槽／守ろう海の仲間達	飼育20年を迎えた動物達
37	1991.6	シリヤケイカ	夜の水族館	イカの体・不思議発見／オーシャンスタジアムだより	第3回研究集会開催／イッカクの角展示／食と縁の博覧会へ出展協力／シーワールドの新しいロゴ	アカエイ／マカラニベンギン
38	1991.12	パンドウイルカ	水族館でのホエールウォッチング	満1才を迎えたパンドウイルカの子ども達	海の動物菊花展／深海ガニの展示／平成3年度サマースケール報告／マリンシアター・リニューアルオープン	イワシ／ミズカマカリ
39	1992.7	セイウチ	動物の餌付けの話	ハワイへオキゴンドウ搬出／白いアカエイ搬入	仔イルカの愛称決定／発行された研究業績集（1970-1991）／新しいキャラクター／アマモの揺れる水槽	イワトビベンギン／メダカ
40	1992.12	ペルーガ	水族館の「うら方」見学「ディスカバリー・ガイダンス」	アシカ笑う／9.12キャンペーン	レストランオーシャンカフェテリアオープン／ひと夏の体験inオーシャンスタジアム／アシカホリゾント改装／平成4年度サマースケール報告	ペルーガ／シリヤケイカ
41	1993.7	ラッコ	さかなの採集から展示まで磯採集	ラッコの赤ちゃん誕生／イロワケイルカとペルーガの同居報告	第5回研究集会開催／新しいキャラクターデビュー／グラウンドサンクスター実施／第12回全国豊かな海づくり大会への出展協力	イロワケイルカ／ウナギ
42	1993.12	シャチ	シャチとトレーナー	カリオルニアからキタゾー／特別展示「水族館の水」開催中	イイに触ろう！／動物Q&A／カリオルニアアシカ3頭出産／入園者2,000万人を達成	カスピカイアザラシ／チョウウコウ
43	1994.7	イロワケイルカ	長寿No.1「スリム」	イルカのオーバーヘッドキック／置水槽コーナーが生まれかわりました！	高砂淳二真展開催／キタゾウアザラシの愛称決定／海の動物菊花展—マッコウクジラの展示—／第6回研究集会開催	ゴンズイ／ゲンゴロウ

No.	発行年月	表紙	メインテーマ	トピックス	モラモラ	アニマル
44	1994.12	セイウチ	セイウチの「タック」と「ムック」赤ちゃん誕生までの道のり	「ラッコの海」いたずらクーピーは大喜び／「イクラは誰の子？」開催中	モモイロベリカンが仲間入り／新しく生まれかわったデイスカバリー・ガイダンス／夜の水族館探検／感動夏体験—海の生き物とのふれあい—	キタオットセイ／マツカサウオ
45	1995.7	バンドウイルカ	マギーの出産	シャチとの1年7か月	1歳の誕生日を迎えたセイウチの「チャッキー」／波の水槽リニューアルオープン	クマノミ／ウメボシイソギンチャク
46	1995.12	オウサマベンギン	オウサマベンギンの繁殖	南極の生物—昭和基地を旅立つから5000日—／海の動物菊人形でのできるまで	人気急上昇笑うアシカ／第7回研究集会開催／海の菊花展—4.5mの巨大ベンギン—／保護されたネズミイルカ	キタゾウアザラシのジャブ／ウツボ
47	1996.7	コシグロベリカン	ロシアからのベルーガ	秋篠宮殿下御一家ご来園／流れの水デュエトリューパーツとマーシャの2000年一日	特別展「水族館アイウォッティング」開催中／夏催事シャチのウォーターパースト／アニマ・アウト・ガイド実施中／県民の日にセイウチの石像公開	タブリードルフィン／第8回国際海洋生物研究所研究集会開催／ベンギン親善大使とスノーフェスティバル／特別展示オーブン
48	1996.12	シャチ	海獣診療センター	イルカの出産／定置網に巨大マンボウ／初体験“イルカの出産シーン”	インターネットホームページ開設／水族館よくばり体験ファミリー／新オリジナルグッズ発売／日米シーワールドの技術交流	ジェンヌーベンギン／ネコザメ
49	1997.7	イソギンチャク	「エコ・アクアローム」	キッズ＆ドルフィン—見て、さわって、おぼえよう—／「波間の妖精」カブトクラゲ	カナダからシーアネモネ／第9回研究集会開催／ヨウスコウカワイルカ保護基金／新キャラクターグッズあいつぎおめみえ	イルカらしいイルカ「マイルカ」／トウキョウサンショウウオ
50	1997.12	マイルカ	鰐脚類の子どもたち	岩のぼりの達人タカアシガニ／どこでもアイドル マイルカの1年	「発信機」お役に立てたかな？／「ピックリ！スコール」プレゼント／新たな感動「ひと夏の体験」／ナイトアドベンチャー	アメンボ／ウミウシの仲間
51	1998.7	シャチ	シャチの赤ちゃん誕生—スティラトトレーナーの長い1日—	私の大先輩長寿の動物たち	トドとセイウチの赤ちゃん愛称決定／第10回研究集会講演会／シャチの巨大菊人形出現／長野オリンピック開催記念「ベンギンと遊ぼう・鹿島横橋」	ウミホタル／モリアオガエル
52	1998.12	ロッキーワールド	ロッキーワールドオープン	ラビーまもなく満1才／エコ・アクアロームの新展示「沖合の瀬」	総合デザイン計画進行中／入園者2,500万人達成！！／イルカと遊ぼう「ラブリードルフィン」／ドルフィンウォッチャングステーション	ミナミアメリカオットセイ／タテゴトアザラシ
53	1999.7	シャチ	どっちが見ている？—ガラス越しに遊ぶ動物たち—	新パフォーマンス・オープン／パンドウイルカの「スリム」飼育日数一万日達成	秋篠宮殿下御一家ご来園／鹿島槍スキー場へベンギン大使／ラビー便り／トロピカルワールド起工	ヘダイ／コウイカ
54	1999.12	トド	トドの「ラビーバフォーマンス」	子シャチのラビーバフォーマンスデビュ／トドウイルカが出産	ドルフィンドリームクラブ結成／イルカのローマンライド／トロピカルアイランド、生物収集開始／「夜の水族館祭り」開催	コシグロベリカン／ゴマモンガラ
55	2000.7	セイウチ	トレーナーの一日	トロピカルアイランドオープンせまる／エトビリカがやってきた	ラビー2才のハッピーバースデー／波造装置実用新案登録／イルカとのふれあいツア／今年の干支 タツの展示	ニシキエビ／メガネモチノウオ
56	2000.12	トロピカルアーランド	オーブン30周年	この10年できごとをふり返る／ラビー夏の活躍と成長	イルカが協力ドルフィンキャンプ／エネルギーセンターオープン／1,000日を迎えたマンボウ／レストラントヒギフトショップ	



No.62



No.63



No.64



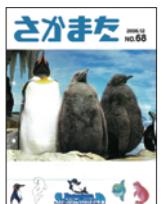
No.65



No.66



No.67



No.68



No.69



No.70



No.71



No.72



No.73



No.74



No.75



No.76



No.77



No.78



No.79

</

Kamogawa Sea World NEWS

鴨川シーワールドニュース
2022/5/1 ▶ 2022/10/31

館内催事



9/3 ~ 24	秋の水族館探検ナイトアドベンチャー 5回実施(426名)
9/17、19	鴨川シーワールド「敬老の日」 ・千葉県在住の60歳以上入館無料(1,326名)
10/1	鴨川シーワールド開業記念日 ・特別入館料金 ・勝俣館長によるレクチャー「鴨川シーワールドのあゆみ」(80名)

講演

6/9 ~ 10/5	千葉県内学校対象「ウミガメ移動教室」(8校532名)
6/7 ~ 10/21	動物レクチャー「シャチものしり講座」 「鴨川シーワールドのなかまたち」他 9回実施(232名)
5/11	令和4年うみがめに係わる研修会「アカウミガメの産卵と保護」 主催:千葉海区漁業調整委員会 講師:吉村課長(18名)
5/14、15	「国際博物館の日」協賛行事 特別レクチャー「シャチものしり講座」2回実施(250名)
10/2、8	開業記念特別レクチャー「ベルーガの繁殖」2回実施(116名)
10/10	「ウミガメの保護活動」(90名)
10/15、16	「絶滅危惧種の保護活動」2回実施(65名)
10/22、23	「メガマウスザメの標本展示」2回実施(113名)
10/29、30	「シャチものしり講座」2回実施(236名)



動物友の会月例会

テーマ:鴨川シーワールドの仲間たち

実施日	タイトル	出席者数
2022年度		
5/21、28	魚類①(硬骨魚類)	40名
6/18、25	鯨類①(イルカ)	72名
7/16、23	棘皮動物(ヒトデ・ウニ・ナマコの仲間)	43名
8/20、27	鴨川シーワールドの保全活動 (シャープゲンゴロウモドキなど)	28名
9/10、17	は虫類(カメの仲間)	39名
10/22、29	鳥類(ペンギン・ベリカン・エトビリカ)	29名



動物友の会
9月例会
「は虫類」

イベント

館内催事

5/1~6/25	ゴールデンウイークイベント ・夜の水族館探検ナイトアドベンチャー 13回実施(924名)
6/15	千葉県民の日 ・千葉県内中学生以下無料入館(2,892名入館)
7/16~8/31	サマーイベント ・夏限定スペシャルパフォーマンス ・夜の水族館探検ナイトアドベンチャー 39回実施(3,206名)
8/6	二代目シャチモニュメント公開

その他

6/7、11	シャチトレーナーと行く、知床羅臼クルーズツアー 2回実施(31名)
7/25 ~ 8/5	サマースクール 10回実施(420名)
	 サマースクール
8/26 ~ 10/29	水族館探検プラン 8回実施(293名)

●本紙の一部または全部を許可なく転載、複製することは著作権法で禁止されています。

表紙写真:メインゲート



鴨川シーワールド

〒296-0041 千葉県鴨川市東町1464-18
TEL:04-7093-4803 FAX:04-7093-4829

<https://www.kamogawa-seaworld.jp/>

鴨川シーワールドは、グラニビスタ ホテル&リゾートが運営する施設です。